

肌の修復と再生に有効な脂肪幹細胞由来コスメの開発



研究代表者 琉球大学医学部 先端医学研究センター
特命助教 角南 寛

(琉球大学発ベンチャー 株式会社Grancell 学術顧問)

琉球大学医学部では脂肪幹細胞を用いた再生医療及び再生医療研究を行っている。この過程で副次的に産生される培養上清には生理活性物質（サイトカイン）が多く含まれている。この培養上清液は、日本国内で製造販売されておらず、安全かつ高品質な日本産の脂肪幹細胞培養上清液が求められている。我々は脂肪幹細胞培養上清液中の有効成分の濃度を高め、より優れた脂肪幹細胞由来コスメを開発した。

主要なサイトカインの濃度を20000 pg/mlまで高める独自技術を開発

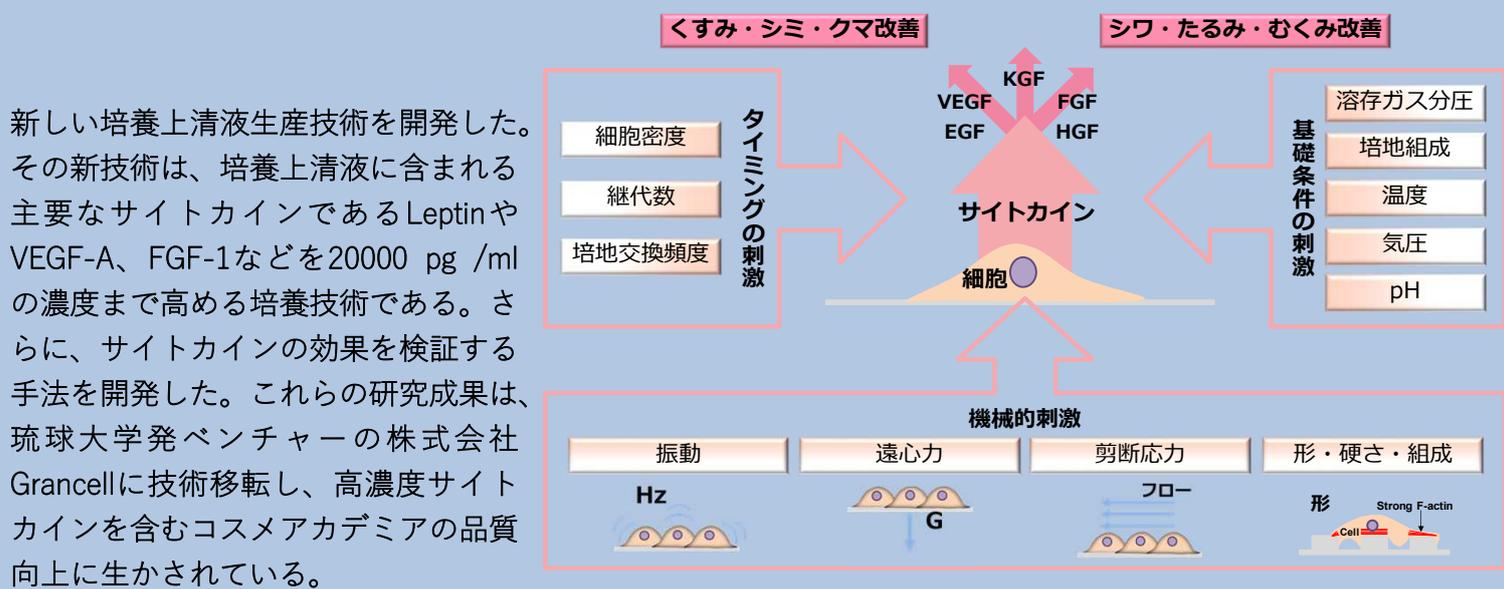
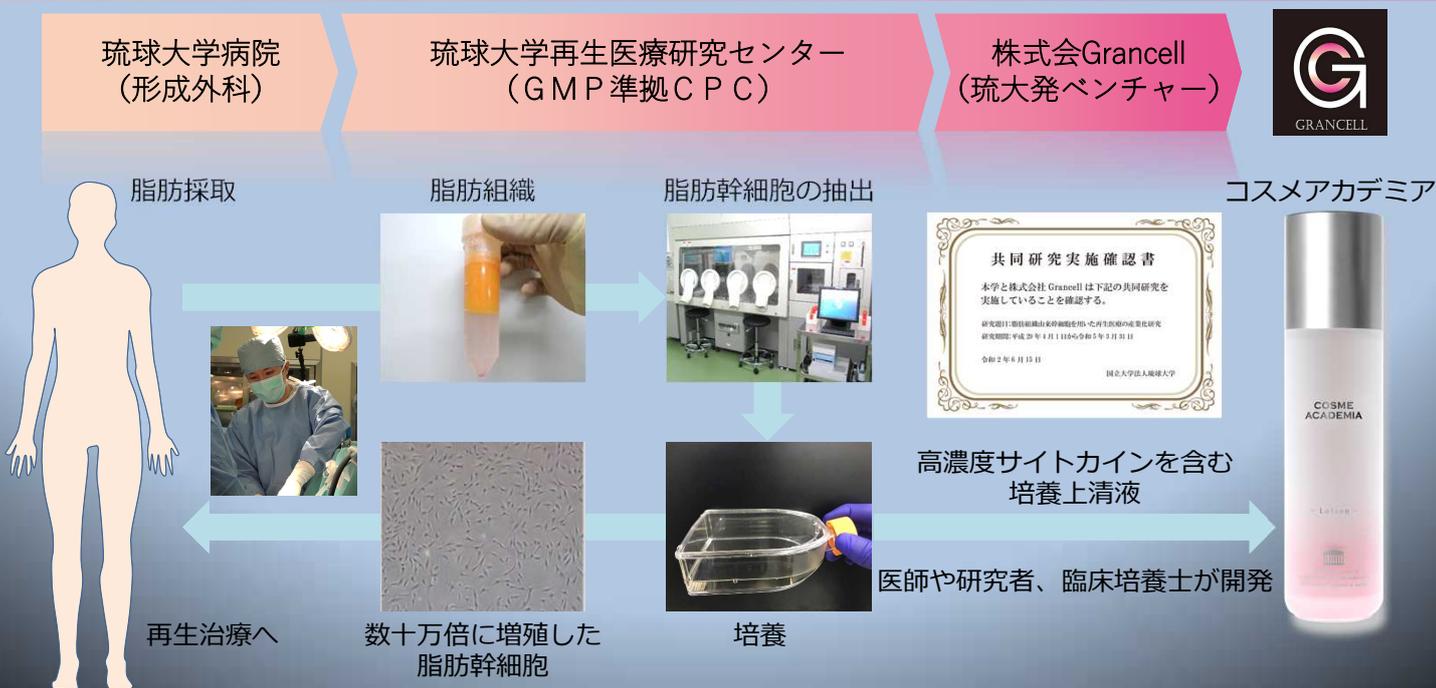


図1 目的のサイトカイン濃度を高める独自技術

琉球大学の再生医療に関する研究成果を株式会社Grancell（琉球大学発ベンチャー）に技術移転



肌の修復と再生に有効な脂肪幹細胞由来コスメの開発

研究代表者：琉球大学医学部 先端医学研究センター 特命助教 角南寛
(株式会社Grancell 学術顧問)

琉球大学発ベンチャー

琉球大学医学部では脂肪幹細胞を用いた再生医療及び再生医療研究を行っている。この過程で副次的に産生される培養上清液には生理活性物質（サイトカイン）が多く含まれている。我々は、脂肪組織の採取から脂肪幹細胞の抽出と培養、培養上清液の製造までを日本国内で行い、培養上清液中のサイトカインの濃度を更に高めることに成功した。この優れた純国産の培養上清液は、再生コスメの原料として活用されている。

主要なサイトカインの濃度を20000 pg/mlまで高める独自技術を開発

新しい培養上清液生産技術を開発した。その新技術は、培養上清液に含まれる主要なサイトカインであるLeptinやVEGF-A、FGF-1などを20000 pg/mlの濃度まで高める培養技術である。さらに、サイトカインの効果を検証する手法を開発した。これらの研究成果は、琉球大学発ベンチャーの株式会社GRANCELLに技術移転し、高濃度サイトカインを含むコスメアカデミアの品質向上に生かされている。

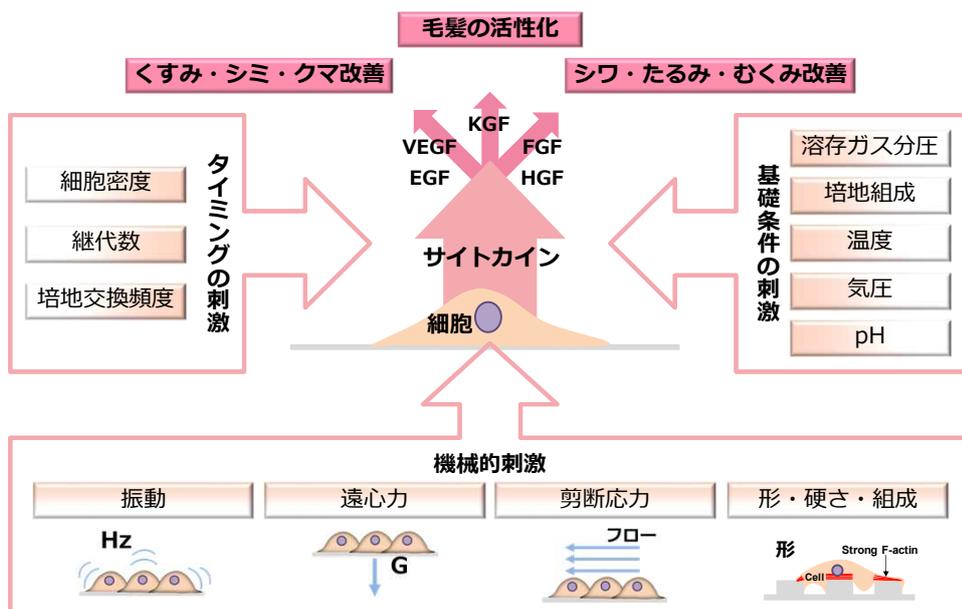


図1 目的のサイトカイン濃度を高める独自技術

琉球大学の再生医療に関する研究成果を株式会社GRANCELL（琉球大学発ベンチャー）に技術移転

